



世界に広がる志布志港 「国際コンテナターミナル」オープン



志布志港は、南九州地域の国際物流拠点港として九州で唯一指定を受けた中核国際港湾であり、アジア各国に近いという地理的優位性や、背後に日本有数の農畜産地帯を控える特性を生かしながらアジアの物流拠点として発展しています。

近年の外貿コンテナ貨物量の飛躍的な増加などに対応するため、平成9年から新たなターミナルの整備を進めていました。

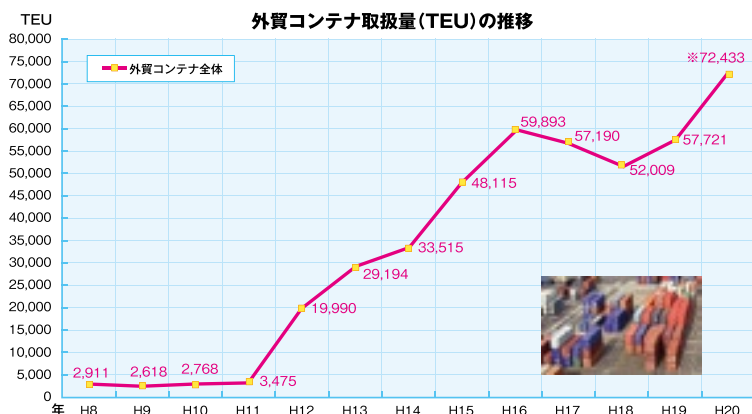
今回の供用開始により、志布志港がアジアの物流拠点として、また、成長の続くアジアを見据えた本県農林水産品の輸出促進や産業・貿易振興を牽引する重要な物流ルートと期待されています。

事業の経緯

- ◎平成 5 年度：志布志港港湾計画に新若浜地区計画を位置付け
- ◎平成 8 年度：中核国際港湾に位置付け
- ◎平成 9 年度：岸壁、護岸、埋立工事に着手
- ◎平成 16 年度：臨港道路整備に着手
- ◎平成 19 年度：ガントリークレーン整備に着手
- ◎平成 20 年度：国際コンテナターミナル供用開始

平成20年の外貿コンテナ貨物量は、7万2千TEUと過去最高を更新し、九州では第3位の取扱量を記録！

※ TEU: コンテナ船の積載能力を示す単位。1TEUは20フィートコンテナ1個分を示す。



◎充実した外貿コンテナ航路

外貿コンテナ航路が4航路週8便と、博多港と大差のない寄港地。台湾・香港航路(週1便)、台湾フィリピン航路(週1便)、韓国航路(週4便)、中国航路(週2便)が就航中。

◎志布志港の貨物

志布志港は背後に我が国有数の畜産地帯を控え、臨港用地の大規模飼料工場で配合されるトウモロコシや雑穀、魚粉などの飼料原料やタイヤ工場へのゴム樹脂輸入をはじめ、近隣工場からのタイヤや半導体製造装置、中古機械なども輸出され、国内外における貨物の取扱量は近年増加傾向にあります。

最大の
特徴

14m水深の岸壁により5万トン級の大型コンテナ船が就航可能
年間の取扱量はこれまでの約2倍



新ターミナルに着岸した大型コンテナ船
(ERIC G GIBSON:33,625 トン)

国際コンテナターミナル

冷凍コンセント



農林水産品の輸出入に対応した冷凍コンセント。

多目的上屋



混載貨物(小口貨物)に対応でき、雨天時でも輸出入の検査が可能。
※平成21年8月完成予定

ガントリークレーン(2基)



最新のガントリークレーンにより荷役の効率化が可能。

利用者への
優遇策

◎ 港湾使用料の減免

志布志港では、利用者の方々にご利用しやすいよう港湾使用料の減免を実施しています。

- 係船料: 1/2 減免(外港コンテナ船に限ります。)
- ガントリークレーン使用料: 1/2 減免(九州では最安値となります。)

◎ 助成制度

志布志港国際航路利用促進協議会(事務局:志布志市)では、食品を輸出する荷主に対して、1コンテナ当たり2万円を助成しています。

Topics

供用式典が開催されました

平成21年3月28日、韓国コンテナ船「KOREX INCHEON」号を迎えて、供用式典が盛大に行われました。



志布志ちりめん太鼓メンバー



テープカット&くす玉開披

〈問い合わせ先〉 県庁港湾空港課 ☎ 099-286-3653